

2項 音響工学会(3節 工学会,第5章 国際会議・シンポジウム等)

著者	鈴木 陽一, 西村 竜一, 鈴木 基之
雑誌名	東北大学電気通信研究所研究活動報告
巻	12
ページ	271-271
発行年	2006-08
URL	http://hdl.handle.net/10097/30661

伝送工学研究会

主査 澤谷 邦男, 幹事 陳 強

伝送工学研究会は、最も長い歴史をもつ研究会であり、17年度末の時点で490回を数えている。本研究会は、電波から光波に亘る電磁波を用いた有線・無線伝送に関する基礎・応用研究の発表と討論を目的としており、放射・伝搬・伝送およびこれらに用いるデバイスや方式などの招待講演と研究報告を行ってきた。

本年度は10回の研究会が開催され、3件の特別講演と34件の一般講演が行なわれた。最新の研究動向と成果が発表され、活発な議論が行われた。

音響工学研究会

主査 鈴木陽一, 幹事 西村竜一, 鈴木基之

音響工学研究会は、音波、固体振動、超音波などの弾性波を対象とする研究の成果を発表し、討論や意見交換をする場として、1950年頃に発足した研究会である。関連する分野は、電気音響、聴覚・心理音響、建築音響、騒音制御、ディジタル補聴器、音声分析・合成、音声認識・理解、音環境工学など、多岐にわたっている。2005年度は、主査鈴木陽一教授、幹事西村竜一助教授、鈴木基之助手のもとで、研究会7回(第337回～第343回)と通研講演会1回が開催された。会場は、第342回が東北大学工学部電気・情報系451・453会議室、その他は全て電気通信研究所大会議室で行われた。なお、第338回および第342回は超音波エレクトロニクス研究会と合同で開催され、第341回は電子情報通信学会HIP研究会との共催で開催された。第337回は、2005年5月26日(木)に開催され、研究発表4件、参加者は31名であった。第338回は、7月21日(木)に開催され、研究発表5件、参加者は55名であった。第339回は、10月27日(木)に開催され、研究発表2件、参加者は33名であった。第340回は、11月15日(火)に開催され、研究発表2件、参加者は33名であった。第341回は、12月15日(木)、16日(金)に開催され、研究発表28件、参加者は延べ116名であった。第342回は、12月20日(火)に開催され、研究発表9件、参加者は50名であった。第343回は、2006年2月17日(金)に開催され、研究発表6件、参加者は21名であった。通研講演会は、2006年3月10日(金)に赤木正人教授(北陸先端科学技術大学院大学教授)による「歌声らしさの知覚とその歌声合成への応用」という題の講演が開催され、参加者は31名であった。